

# エピ変異によって引き起こされる多様な表現型

西村泰介 先生

長岡技術科学大学 技学研究院 物質生物系 准教授

9月29日（金） 16：00-17：15

農学部 第2講義室

植物ではしばしば世代間でDNAメチル化の情報が維持され、DNAメチル化のパターンの変化（エピ変異）によって引き起こされる表現型の変化が次世代まで引き継がれる。私たちは、これまで器官発生や環境応答に異常が観察されるエピ変異体の候補系統を複数単離することに成功している。現在、1.カルスからの再生効率の上昇する系統、2.葉の形態が変化する系統、3.病原性細菌の抵抗性の上昇する系統、に着目して研究を進めており、どの遺伝子におけるDNAメチル化の変化がこれらの表現型を引き起こすのかを明らかにすることを試みている。本研究の成果が、植物の発生プログラムや環境応答におけるDNAメチル化の役割を明らかにするだけでなく、DNAメチル化の変化に起因する種間・系統間にみられる表現型の多様性の理解や塩基配列の変化を伴わない新しい育種法の開発にもつながると私たちは考えている。

大学院特別講義（9月28-29日）の一環として公開セミナーを行います。

皆様のご来聴を歓迎いたします。

連絡先：生命農学研究科 武田 真（内線5205）

[takeda@agr.nagoya-u.ac.jp](mailto:takeda@agr.nagoya-u.ac.jp)